

# 成年後見制度の実態と今後

## ～家族の立場から見たもの～

2025年には、認知症・精神障がい・知的障がいで、判断能力が不十分になる方は約1000万人になると見込まれており、厚生労働省は成年後見制度の利用を推進しています。しかし、成年後見制度がどういったものかは知られているものの、後見される側の声、当事者の声は、ほとんど世に出ていません。

労働者協同組合・結の会（ワーカーズ葬祭&後見サポートセンター）では、葬送支援事業を行うと同時に、後見問題にも関わり、「後見制度と家族の会」の体験談から学んでいます。

そこで、2月27日、3月20日の連続勉強会では、後見問題の当事者の声をお届けします。お話しいただくのは、ご自身のお父様に弁護士の後見人が付いた当事者であり、「後見制度と家族の会」代表の石井靖子さんです。2月は体験談と併せて、裁判所や弁護士・司法書士等の士業専門家の実態、成年後見制度の行く末について語っていただきます。

3月は、「後見制度と家族の会」に寄せられた相談をもとに、①障がいのある子とその親の8050問題の現実、②障がいのある未成年の子どもを持つ親の心配等について、併せて、高齢・障がいに関する事業に多く携わっているワーカーズコープに対し、期待することもお話しくさいます。

高齢や障がいの当事者のみならず、その関連分野の方、「親亡き後」「兄弟亡き後」問題に関心がある方を中心に、広く参加を呼びかけます。改正によりやく着手された成年後見制度ですが、課題を把握しながら有志による政策提言も進めていきますので、奮ってご参加ください。

日時：第9回2023年2月27日(月)、第10回3月20日(月) 各18:00～20:00

場所：ワーカーズコープ本部(豊島区東池袋1-44-3池袋ISPタマビル8F)

第9回(2/27)B会議室、第10回(3/20)A・B会議室

+ WEB参加URL <https://us02web.zoom.us/j/88217829274>

参加申込：E-mail [nakashita@athena.ocn.ne.jp](mailto:nakashita@athena.ocn.ne.jp)（労働者協同組合「結の会」中下）

講師：後見制度と家族の会 代表・石井靖子さん



2016年、突然、入所施設によって親族（養父）に弁護士後見人がつけられた。

「なぜ？」と自問自答しても答えの出ない成年後見制度というルールが自由を奪うことを知り、ネットで成年後見制度に困っている声を集め活動を開始。

2021年6月、有志と共に全国組織の家族会「後見制度と家族の会」を設立し、代表を務めている。家族会に集まる成年後見制度利用者の本当の声を届けるため、全国で登壇。

一般社団法人後見の杜認定「後見の達人コース」第1期修了生。

### 【主催】

(社)日本社会連帯機構

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団

(社)しんきん成年後見サポート  
社会連帯 TOKYO